

知立市議会 篤心会

関係省庁からのレク並びに国政要望会 報告書

令和 6 年 2 月 1 日（木）

知立市議会議長
小林昭弼様

報告者：篤心会
知立市議会議員
山崎りょうじ

◆日にち：令和 6 年 1 月 25 日（木）

【省庁レク内容】

- ・マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大について
- ・相手方：デジタル庁職員

今後、我が国は一生涯どこで暮らしていても、教育から生活、医療に至るまで、デジタルの力で便利で安全な先端サービスが提供されるデジタル社会への移行の加速化を図ること。そのパスポートとなるマイナンバーカードの本人確認・証明機能を、生まれてから亡くなるまで全国民が活用できる国民インフラとして普及させるとともに、各府省の施策を総動員して、マイナンバーカードの利活用拡大と利便性の向上を図りたいとのことであった。このため、今度、関係省庁に所管分野における支援の強化を要請し、更なるマイナンバーカードの利活用促進プランをとりまとめるとの説明があった。

【所見】

医療機関等でのマイナンバーカードの健康保険証としての使用は、現在は一部医療機関等のみとなっているが、2023 年 3 月末にはほぼすべての医療機関等で使用できるよう環境整備が進められている。更に 2024 年秋をめどに現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと一体化した「マイナ保険証」に切り替える方針をデジタル庁が発表している。また、障がい者手帳のインターネット予約対応や運転経歴証明書との連携など、各種証明書発行の更なるデジタル化も推進されており、社員証として活用されている事例もあり、行政だけでなく民間での利活用も進められていき、今後、更に利便性が良くなると感じた。

【国政要望会及び表敬訪問】

経済産業大臣政務官 衆議院議員 石井拓様

- 国政要望会の内容
- ・学校給食無償化

- ・外国人学習支援及び多文化共生推進支援
- ・地方公共団体情報システム標準化対応支援

◆日にち：令和 6 年 1 月 26 日（金）

【省庁レク内容】

- ・外国人の受け入れ・共生に向けた文部科学省の取り組みについて
- ・相手方：文部科学省職員

改正された「出入国管理及び難民認定法」及び「外国人材の受け入れ・共生のための総合的対応策」（平成 30 年 12 月 25 日外国人材の受け入れ・共生に関する関係閣僚会議決定）を踏まえ、日本語教育及び外国人の子供の教育並びに外国人留学生の国内就職促進等の外国人の受け入れに関する教育環境整備などについての説明があった。

■現状の認識・課題など

外国人が我が国において生活していく中で、日本語能力が不十分な場合、円滑な意思疎通が図れず、様々な場面において支障が生じ得る。外国人を日本社会の一員として受け入れ、外国人が社会から排除されること等のないようにするためには、より円滑な意思疎通の実現に向け、いわゆる第二言語としての日本語を習得できるようにすることが極めて重要であり、そのような観点から、外国人に対する日本語教育の取組を大幅に拡充し、外国人と円滑にコミュニケーションできる環境を整備する必要がある。

【所見】

外国人の受け入れ・共生は、我が国に豊かさをもたらすものであり、外国人が日本人とともに今後の日本社会を作り上げていく大切な社会の一員であることを認識し、日本人と外国人がともに尊重し合い、さまざまな課題に対して協働していくことのできる環境を構築することが重要であると感じた。一方、世界に目を向ければ、外国人受け入れに伴って、望ましい形での共生が実現できず生じた社会的な分断は大きな課題となっている。日本において在留外国人が増加している現状を踏まえれば、日本社会において同様の課題が発生しないよう十分な対策を積極的に講じていくことが重要であると改めて感じた。

【国政要望会】

相手方：参議院議員 酒井やすゆき様

- 国会要望の内容
- ・学校給食無償化について
- ・外国人学習支援及び多文化共生推進支援について
- ・地方公共団体情報システム標準化対応支援について

●国会議事堂参議院 国会開会式

開会式は毎国会会期の始めに行われ、両議院の議員が参議院の議場に集まり、天皇陛下をお迎えして行われた。そして、衆議院議長が両議院を代表して式辞を述べ、陛下からおことばを賜った。開会式は、常会、臨時会ともおおむね召集日から数日内に行われ、また、特別会では新内閣成立後に行われるのが例になっているとのこと

【現地視察】

●国会図書館

日本の立法府である国会に属する国の機関であり、国会の立法行為を補佐することを第一の目的とする議会図書館。同時に、納本図書館として日本で唯一の国立図書館としての機能を兼ねており、行政・司法の各部門および日本国民に対するサービスも行っている。バーチャル国際典拠ファイルにも参加している。

【所見】

国会図書館の特色としては、「情報の収集・整理」、「資料の保存」、「目録・書誌・索引の作成と提供」、「インターネットを利用した情報の検索」の4つがあり、専門家の利用するほどの資料点数、またインターネットなどで遠方でも資料を閲覧できるなど、とてもサービスが充実していると思った。また、図書館の利用には基本的にお金がかからず、学校や生徒にとっても書籍を購入する金銭的負担がないうえに、幅広い文献にあたることができる感じた。

